



### 『受けましょう、肺がん検診』

当国保組合のがんに関する医療費の第1位は【肺がん】です。

肺がんは40歳を境に発症率が高くなりますが、早期に見つけることができれば、体への負担が少ない治療で治る可能性が高くなります。みなさんは肺がん検診を受けていますか？

#### ■ 肺がんとは

気管・気管支・肺胞の細胞ががん化して起こる病気です。たばこ関係が深く、喫煙者は非喫煙者と比べて、**3～4倍がんになりやすい**といわれています。

#### ■ 肺がん検診では、どんな検査をするの？

厚生労働省は、科学的根拠に基づく肺がん検診として

**40歳以上の方を対象に、毎年1回、胸部レントゲン検査**と問診を推奨しています。ただし、**50歳以上で喫煙指数※が600以上の方は痰の検査**も対象となります。

※「一日の喫煙本数」×「喫煙年数」で計算します



#### ■ 支部主催の特定健診では、胸部レントゲン検査が受けられます

特定健診と同日に行うことができ、**自己負担**はありません。

※ご所属の支部ごとに、特定健診の実施時期などが決まっております。今年度の特定健診のお知らせをご確認ください。

人間ドック等補助金制度を利用する方法もありますので、[こちらをご参照ください。](#)

検診費用などは地域によって異なりますが、**市区町村の肺がん検診を受診**することもできます。お住まいの地域のがん検診担当窓口にご確認ください。

#### ■ 要精密検査といわれたら、必ず受診をしましょう

肺がんでも症状が出ないことがあります。自覚症状がなくても、【要精密検査】や【要受診】の結果が出た方は、必ず精密検査を受けてください。

#### ■ たばこを吸わないけど、肺がん検査は受けた方がいいの？

**非喫煙者の方でも、肺がん検診は必要**です。

肺がんの種類によっては、非喫煙者の方も多くみられます。

### 肺がん検診は40歳になったら、毎年定期的な受診を

肺がんの中には、急速に進行するがんもあります。必ず年に1回、検査を受けましょう。

血痰・長引く咳・胸の痛み・声のかれ・息切れなどの症状がある方は、肺がんを含む呼吸器等の病気の可能性があります。健診/検診を待たずに、かかりつけ医または、お近くの医療機関を受診してください。



#### 【引用・参考】

- 1) やさしいがんの知識 2021 [公益法人がん研究振興財団](#)
- 2) これから受ける検査のこと [肺がん検診 国立がん研究センターがん情報サービス](#)
- 3) もっと知りたい肺がん・早く見つけて、納得の治療を - [公益財団法人日本対がん協会](#)